

リハビリテーション学科

【科目名】	精神疾患とその治療		【担当教員】	的場 已知子
【授業区分】	専門基礎分野(臨床医学)	【授業コード】	(メールアドレス)	
【開講時期】	後期	【選択必修】	必修 nur-edu@nur05.onmicrosoft.com	
【単位数】	1	【コマ数】	8 コマ (オフィスアワー) 来校時に対応	
【注意事項】				
(受講者に関わる情報・履修条件)				
基本的な精神疾患を理解するだけでなく、医療人として心の病を持つ患者様に対する実際の対応の仕方を修得することが求められる。				
(受講のルールに関わる情報・予備知識)				
特になし				
【講義概要】				
(目的)				
この科目は公認心理師養成のための必修科目である。精神医学についての一般的な知識を身につけるだけでなく、リゾン等を含み広くリハビリテーション分野および心理臨床分野での精神医学的アプローチを下記を中心に実践的に学ぶ。 精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。) 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化 医療機関との連携				
(方法)				
疾患別の講義のほか、社会・司法に関する事例も豊富に取り上げることにより、自己を分析し、客観的に深く物事を捉えることのできる能力を鍛え、治療者としての技術の向上を目指す。また治療における、精神分析や芸術療法などの技法も修得する。				
【一般教育目標(GIO)】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ ICD に準じた基本的な精神疾患について理解する。 ・ 精神医学独特の専門用語について理解し、使いこなすことができる。 				
【行動目標(SBO)】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己を知り、他者との客観的対応について理解した上で、様々な治療技法について臨床現場で応用出来る 				
【教科書・リザーブドブック】				
標準理学療法学・作業療法学-専門基礎分野(精神医学)第4版 2015年. 医学書院				
【参考書】				
奈良勲 鎌倉矩子 上野武治 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野(精神医学)第4版 2015年. 医学書院				
【評価に関わる情報】				
(評価の基準・方法)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 				

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		90						10	100
評価指標	取り込む力・知識	70							70
	思考・推論・創造の力	20							20
	コラボレーションとリーダーシップ								0
	発表力								0
	学修に取り組む姿勢							10	10

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1.2	発達障害(神経発達症候群/神経発達障害群)	講義	該当する講義内容について各自調べておく	30
3.4	精神疾患の成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族の支援、不安に関する障害、摂食障害、排泄障害、睡眠覚醒障害、秩序破壊的衝動制御、素行症、パーソナリティ障害	講義	該当する講義内容について各自調べておく	30
5.6	物質関連障害および嗜好性癖障害 認知症(神経認知障害)	講義	該当する講義内容について各自調べておく	30
7.8	統合失調症(統合失調症スペクトラム障害) 双極性障害、抑うつ障害	講義	該当する講義内容について各自調べておく	30
9.10	向精神薬を始めてとする薬剤による心身の変化	講義	該当する講義内容について各自調べておく	30
11.12	法的変遷と実際	講義	該当する講義内容について各自調べておく	30
13.14	精神科治療における心理的アプローチについて 医学的治療と心理学的ケア 精神科医療における公認心理師の役割	講義	該当する講義内容について各自調べておく	30
15	チーム医療(医療機関への紹介)	講義	該当する講義内容について各自調べておく	30